

関西健康・医療創生会議の今後の取組（概要）

関西健康・医療創生会議議長 井村裕夫

1. 現状：関西地区の人口動態と医療・介護費

- ・ 関西地区は滋賀県を除いて、日本全体の平均に近い割合で減少
- ・ 2025年が医療危機（団塊の世代が75歳以上）
- ・ 2035年が介護危機（団塊の世代が85歳以上）
- ・ 関西地区の健康寿命の順位
 - （男子）大阪39位、京都28位、兵庫21位
 - （女子）大阪42位、京都35位、兵庫33位
- ・ 高齢者1人あたりの介護費（大阪47位、京都41位、兵庫29位）

2. 提言

【対策1】医療の効率化、病院カルテの共通利用の促進のため、千年カルテプロジェクト(※)を活用する

(※) 政府の支援で関西と九州を中心に140病院の電子カルテのデータを収集、患者本人が利用できる仕組みを有する

- 次世代医療基盤法の施行に伴い、明年から利用開始。利用促進のための会社が必要、産業への応用についても検討すべきである
- 自治体病院などの一層の参加を要望
- 人材育成（データ・サイエンティスト）
 - ・ とりあえず京都大学のデータを利用して、産業界から受け入れて教育
 - ・ 他大学でも準備ができ次第に人材育成事業を始めるべき

【対策2】予防が大切、特に先制医療（個人の特徴に応じた予防）

- ・ 関西広域での健康・医療データ基盤を構築
- ・ 市町村の理解と協力を得る

- 高齢者に多い疾患（がん、脳卒中、認知症など）は、遺伝素因と環境因子により発症
- 特にライフコース全体（胎生期から高齢までへの対策）を通した、いわゆるライフコースヘルスケアが重要
 - （親の社会経済状態が子どもの健康に影響、健康寿命も短い）

ゲノム・オミックスデータ 活動・健康データ 医療データ リビングウィル
母子手帳 健診・特定健診データ 介護データ



データ保有者:自治体、医療機関、企業、介護施設他

(「健康“生き活き”羅針盤リサーチコンプレックス」提供)

- ライフコースデータの収集と活用：現在は基礎自治体、学校、企業などが紙ベースで保存、一定期間後に廃棄
 - ・「基礎自治体への働きかけ」
 - ・これを千年カルテに結びつけることが大切
 - ・アメリカでは100万人のデータ収集を開始、イギリスも事業が進んでいる
- 基礎自治体の健診活動の支援：
例として神戸市の認知症対策、専門家と看護師、心理士などの協力、小児不眠症（登校拒否）への対策
- ライフコースデータの重要性への理解を深めるシンポジウム
 - 第1回（10月30日）
 - 第2回（明年2～3月頃）

3. 今後のスケジュール

- 千年カルテの活用：明年4月以降
(政府の匿名化事業者の承認が得られ次第)
- データ・サイエンティストの育成：(明年6月開始予定)

【添付資料の一覧】

- 別紙1：関西健康・医療創生会議の今年度の取組について
- 別紙2：特別セミナー「健康医療情報から拓くデータヘルスの未来」
- 別紙3：第1回ライフコースデータ・シンポジウム

- ・参考1：京阪神三商工会議所ライフサイエンス振興懇談会資料
- ・参考2：今後のスケジュール

関西健康・医療創生会議の今年度の取組について

平成 30 年 9 月 22 日
関西健康・医療創生会議

〈取組方針〉

健康・医療分野において関西が世界を先導できる新産業を創出するため、競争力の源泉となる健康・医療関連のビッグデータを活用できる関西全体の環境整備を行う。

このため、関西健康・医療創生会議を中心に、健康・医療データの収集・連携・利活用を推進するとともに、データを有効に活用できるデータサイエンス人材の育成促進に重点的に取り組む。

1 健康・医療データの収集・連携・利活用の推進

(1) 個人の生涯にわたる健康・医療データ(ライフコースデータ※)等の収集・連携の推進

※ ライフコースデータ: 妊娠・出産(母子手帳)、学校健診、職場検診、病院診療(カルテ)、介護、死亡などの個人の生涯にわたる健康・医療関連データ

【趣 旨】

- 健康長寿の延伸には、各個人のライフコースデータ、さらに個人が置かれている社会環境、生活習慣などの環境データに基づき、各個人に効果的・適切な治療、発症前の先制医療を行うことが重要
- しかし、これらのデータは制度ごとに別々に管理され、その多くは紙ベースで一定期間後に廃棄されているのが実情
- このため、各種データをデジタル化して保存することにより、関西広域共通の連携活用の基盤の構築を目指す

【今年度の取組】

- ライフコースデータの重要性の理解を深めるシンポジウムの開催
 - ・ 第 1 回 (10 月 30 日): 兵庫県公館
 - ・ 第 2 回 (2~3 月頃): 京都市内 (調整中)

(2) 関西広域での健康・医療データ基盤の構築と利活用の推進

【趣 旨】

- 関西広域での健康・医療データ基盤を構築し、その利活用を進めるため、健康・医療データを一体的に利活用する先導プロジェクトである「神戸リサーチコンプレックス」の成果を活用して、データの産業利用や住民への健康サービスの先行モデルを確立し、関西全域で展開

【今年度の取組】

- 健康データ活用の自治体モデルを発信する取組の実施
 - ・ 神戸市の市民への健康サービスモデルを標準モデルとして発信し、構成府県市の参加を呼びかけることにより、関西広域での安価なデータ基盤の構築を目指す
- 健康・医療データを産学連携でビジネス活用の促進
 - ・ 医療データの匿名化を担う次世代医療基盤法の認定事業者との密接な連携のもと、健康・医療データ等を産学連携により活用し、新分野の研究や新サービス・事業を開拓する新法人の設立を検討

(3) 医療情報データベース「千年カルテプロジェクト」の推進・活用

【趣 旨】

- ライフコースデータの一部である電子医療記録のデータベース（EHR）を社会基盤として構築する「千年カルテプロジェクト(AMED 事業)」を活用し、各医療機関ごとに管理されている医療情報の連携を図るため、関西の公立病院へ本プロジェクトへの参画を促す

【内 容】

- ・電子カルテの主要データを標準化・クラウド化
- ・府県・医療圏を越えた医療機関同士の医療データ共有を推進（救急、災害時に有効）
- ・カルテの患者本人への円滑な開示が可能（データを本人のスマホに提供）
- ・次世代医療基盤法に基づく匿名二次利用により、臨床研究や創薬など健康・医療サービスに貢献（産業振興）

※ 接続病院数：全国 71 病院、うち関西広域連合内 34 病院
（今年度中に新たに 70 病院の参加を予定）

※ 医療情報の二次利用への体制整備

（(一社)ライフデータイニシアティブ設立、次世代医療基盤法の認定事業者へ申請）

【今年度の取組】

- 関西の公立病院の参加・協力を促す説明会の開催
 - ・関西の公立病院を対象とした説明会（8月29日：参加者31名）
 - ・公立病院を持つ自治体への協力依頼（説明会）

2 健康・医療データサイエンス人材育成の推進

【趣 旨】

- ライフコースデータを活用し、ビジネスにつなげるためには、医療現場や法令倫理など健康・医療分野についての特別の知識・経験が必要となるため、企業・行政向けのデータサイエンス人材育成を推進

【今年度の取組】

- 企業向け普及啓発セミナーの開催（11月29日 大阪市内）
- 健康・医療データサイエンス短期研修（仮称）の実施（企業・行政向け）
- 京大における専門人材育成コースの準備（病院での実習を行う全国初の試み）

3 今後の主な行事スケジュール

◎ 平成 30 年

10 月 18 日 特別セミナー「健康医療情報から拓くデータヘルスの未来」 ※ 別紙 2 参照
(健康生き活き羅針盤リサーチコンプレックス共催事業)

【場所】理化学研究所 融合連携イノベーション推進棟 (IIB) [神戸市]

10 月 30 日 第 1 回ライフコースデータ・シンポジウム ※ 別紙 3 参照

【場所】兵庫県公館 [神戸市]

11 月頃 千年カルテ参加公立病院に向けた説明会

※ 構成府県市への説明会により、基礎自治体への次世代医療基盤法に関する周知、協力依頼

※ 医療情報の二次利用に係る各自治体での個人情報保護条例の円滑な運用

11 月 29 日 健康・医療データサイエンス人材育成セミナー (仮称)

【場所】大阪国際会議場 [大阪市]

◎ 平成 31 年

2 月頃 健康・医療データサイエンス短期研修 (仮称) (企業・行政向け)

2 月～3 月 第 2 回ライフコースデータ・シンポジウム

【場所】京都市内 (予定)

6 月以降 京大における高度人材育成セミナー

※ 2019 年度から 150 時間の座学、実習コースを実施

※ 本年 10 月から京都大学の学生及び社会人に対して試行実施

健康生き活き羅針盤リサーチコンプレックス 《特別セミナー》

健康医療情報から拓くデータヘルスの未来

IoTやAIを活用したビジネスモデルを実際に展開していくためには、先端テクノロジーに関する知識だけでなく、関連する**法律についての知識**も必要です。法律を知ることがIoTやAIで競争相手に勝つための戦略を練ったり、システム設計をする為にも重要です。

また、健康医療情報の重要性が言われだしてかなりの年月がたちますが、ここに来て、**法整備とともに新たな枠組みも生まれつつあります。**

今回は、上記のような視点から**データヘルス**に焦点を当て、必須基本知識を学ぶ機会にしたいと思います。

■プログラム

(15:00~16:00)

次世代医療基盤法を知る

～何がポイントで、これからどうなっていくのか～

黒田 佑輝 氏 (大江橋法律事務所 弁護士・ニューヨーク州弁護士)

(16:00~17:00)

千年カルテプロジェクトを知る

～データヘルス市場の近未来はこうなる～

黒田 知宏 氏 (京都大学医学部附属病院 医療情報企画部長)

【日程】10月18日(木) 15:00~17:00

【場所】理化学研究所 融合連携イノベーション推進棟 (IIB) 8階

神戸市中央区港島南町6-7-1 融合連携イノベーション推進棟 (IIB)

TEL: 078-569-8852 (代表)

●ポートライナー 三宮駅より、神戸空港行き乗車

「三宮駅 医療センター駅」約12分

(アクセス → <https://rc.riken.jp/contact/>)

【参加費】無料

【定員】: 100名

(注) 事前申込制定員になりしだい締め切らせていただきます。

■共催

健康“生き活き”羅針盤リサーチコンプレックス

関西健康・医療創生会議

■お問い合わせ & お申込み先 ★メールでお願いいたします。

※なお、メールには、御氏名、御所属、御連絡先電話番号を必ずご記入ください。

健康“生き活き”羅針盤リサーチコンプレックス 三宮拠点 iKAfE 卯津羅 (ウツラ) E-Mail : rc-ikafe-info@ml.riken.jp

関西健康・医療創生会議シンポジウム

健康長寿のための ライフコースデータの 重要性

2018年 **10月30日** (火)
13:30~16:30

兵庫県公館1階大会議室
(神戸市中央区下山手通4丁目4番1号)

開催趣意

健康診断、診察時のカルテや調剤情報など、個人の健康・医療データは出生から高齢期にいたるさまざまな場面で記録されます。ライフコースデータを集積し分析することで、さまざまな疾患や障害の原因が明らかになります。今回は、睡眠とライフコースとの関連性について紹介いただきます。さらにライフコースデータを活用する取り組みを報告し、健康長寿社会をめざす取り組みや新産業化の可能性をさぐります。

プログラム



挨拶

13:30~13:40

井村 裕夫 関西健康・医療創生会議 議長 (ビデオメッセージ)

関西広域連合 (調整中)



一般講演

国内各地域での 主要研究プロジェクトと 産業化の取組 14:50~16:30

座長 ● 竹村 匡正 兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科 教授

■兵庫県・神戸市の取り組み

健康寿命延伸に向けた神戸市の取組及び市民PHRの紹介
三木 孝 神戸市保健福祉局長

ヘルスケアビジネスの拠点を兵庫・神戸に！
リサーチコンプレックスのビジネス機能集積への取組
竹谷 誠 理化学研究所 リサーチコンプレックス戦略室長

■神奈川県でのヘルスケア・ニューフロンティアの取組

藤沢 恭司 神奈川県政策局 ヘルスケア・ニューフロンティア推進本部室 室長

■花王のヘルスケア事業と弘前COI社会実装での取組

安川 拓次 弘前大学COI副拠点長、花王(株) エグゼクティブ・フェロー

※各講演の演題は変更する可能性があります。

基調講演

良質な睡眠が ライフコースを左右する 13:40~14:40

座長 ● 橋本 信夫 神戸市民病院機構 理事長

西野 精治 スタンフォード大学医学部 教授、
スタンフォード睡眠・生体リズム研究所 所長定員 **250名** 参加無料

参加登録

関西健康・医療創生会議ホームページ
(<http://www.khmic.jp/>) の
登録フォームをご利用ください。または、
裏面の参加登録申込書に必要事項を明記のうえ、
関西健康・医療創生会議事務局

FAX **078-362-4466** までお送りください。

主催

関西健康・医療創生会議 / NPO法人 関西健康・医療学術連絡会
共催

関西広域連合 / 関西経済連合会 /
大阪商工会議所 / 京都商工会議所 / 神戸商工会議所 / 関西経済同友会

健康長寿のためのライフコースデータの重要性

参加登録申込書

▲ FAX : 078-362-4466

参加者①

フリガナ		
お名前		
所属	会社・団体名	役職
連絡先	ご住所	
	電話	E-mail

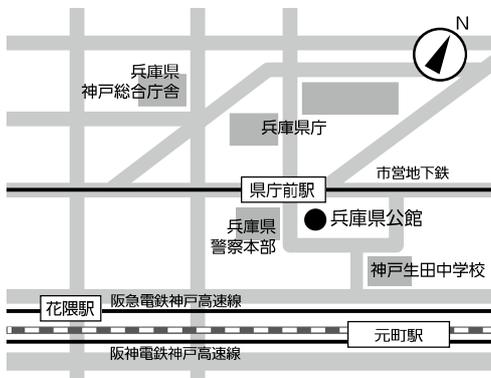
参加者②

フリガナ		
お名前		
所属	会社・団体名	役職
連絡先	ご住所	
	電話	E-mail

または、関西健康・医療創生会議ホームページ (<http://www.khmic.jp/>) の登録フォームをご利用ください。

会場周辺図／アクセス

兵庫県公館 ● 神戸市中央区下山手通 4 丁目 4 番 1 号



電車

- JR 元町駅下車 西口から北へ徒歩 5 分
- 阪神電鉄「元町駅」下車 西口から北へ徒歩 5 分
- 阪急電鉄神戸高速線「花隈駅」下車 東口から北東へ徒歩 10 分
- 神戸市営地下鉄西神・山手線「県庁前駅」下車 西 5 番出口すぐ

バス

- 神戸市バス 県庁前下車 東へ徒歩 1 分

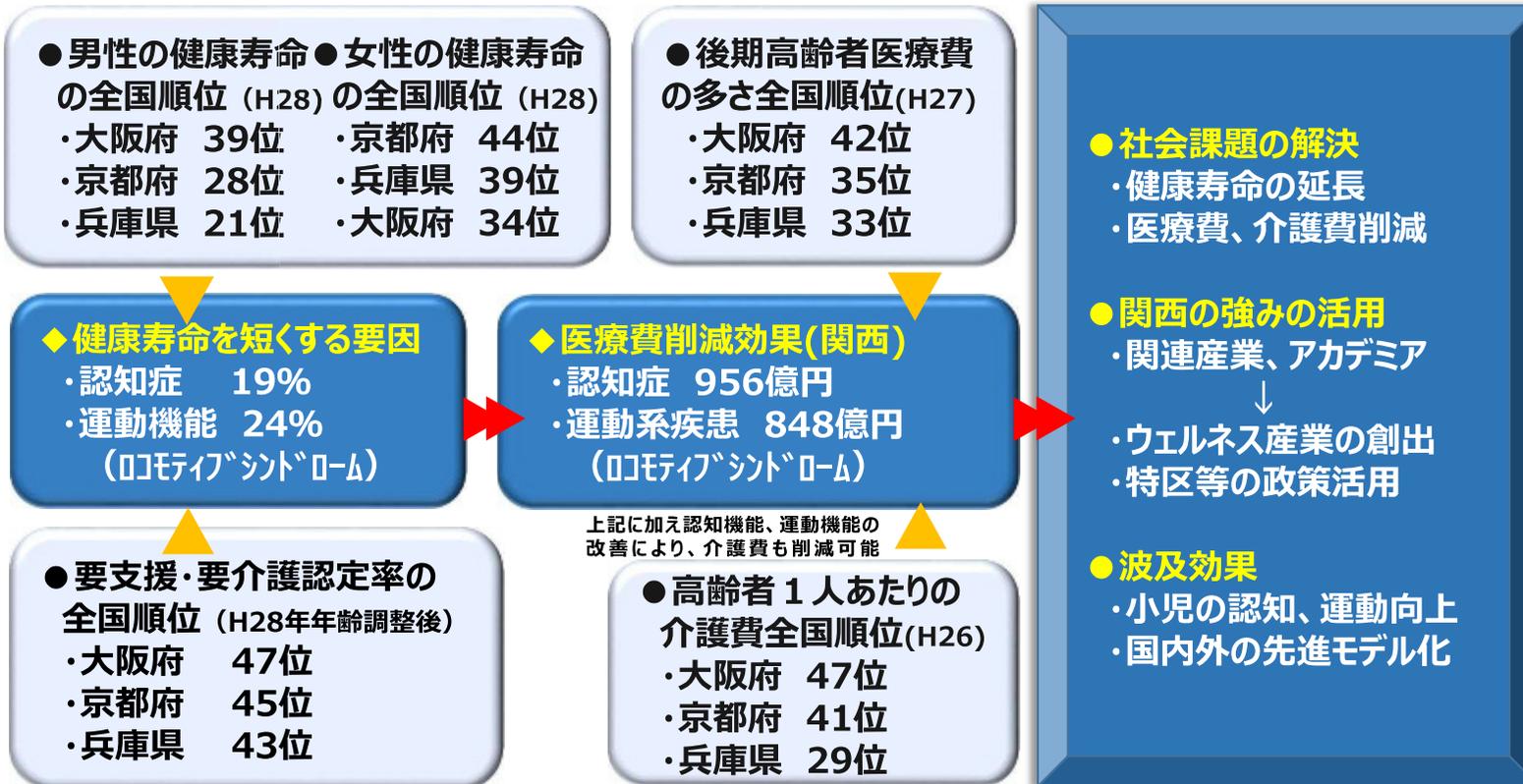
お問い合わせ 関西健康・医療創生会議 事務局

TEL: 078-362-3335

Mail: sousei@pref.hyogo.lg.jp

関西の社会課題と認知機能、運動機能向上の必要性

- 関西（大阪府、京都府、兵庫県）は健康寿命が短く、高齢者の医療費や介護費が非常に高い。
- 健康寿命を短くする原因については、認知機能、運動機能の悪化が大きな要因となっており、一方、その改善による医療費削減効果は高いと試算されている。



出所:京阪神三商工会議所ライフサイエンス振興懇談会 『関西ウェルネス産業振興構想』

今後のスケジュール

参考2

時期		重点取組	
		データの収集・連携・利活用	データサイエンス人材育成
30 年度	4月～6月		
	7月～9月	関西の公立病院への千年カルテ説明会 (8月29日)	
	10月～12月	特別セミナー「健康医療情報から拓くデータヘルスの未来」(10月18日)	高度専門人材育成コース (10月～京大で試行)
		第1回 ライフコースデータシンポジウム (10月30日)	企業向け普及啓発セミナー(11月29日)
		千年カルテ自治体説明会(周知・協力)(11月～)	
	※次世代医療基盤法認定事業者(LDI)の決定		
1月～3月	第2回 ライフコースデータシンポジウム (2～3月頃)	関西アカデミア連携による 産業界向け人材育成策の検討	
		データサイエンス短期研修(2月頃)	
31 年度	4月～6月	関西広域での自治体連携による 健康・医療データ基盤の構築 (千年カルテプロジェクトとの連携)	
		健康・医療データを活用する新法人設立(予定)	高度人材育成コースの本格実施 (京都大学)120時間
	7月～9月		
	10月～12月		
	1月～3月		